

経営比較分析表（令和元年度決算）

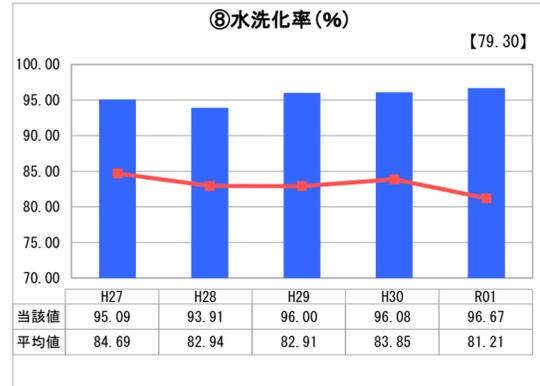
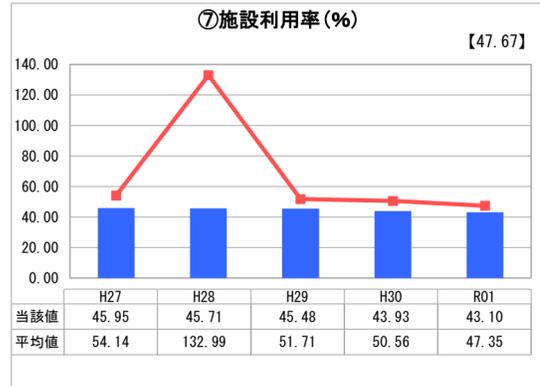
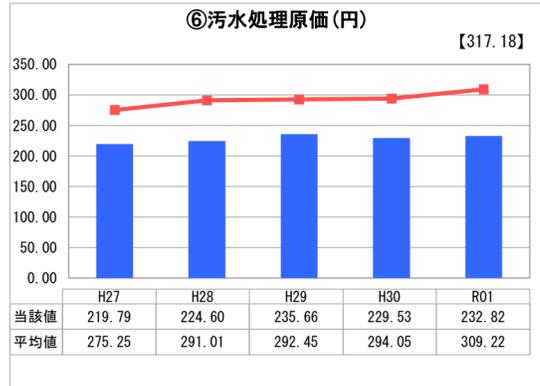
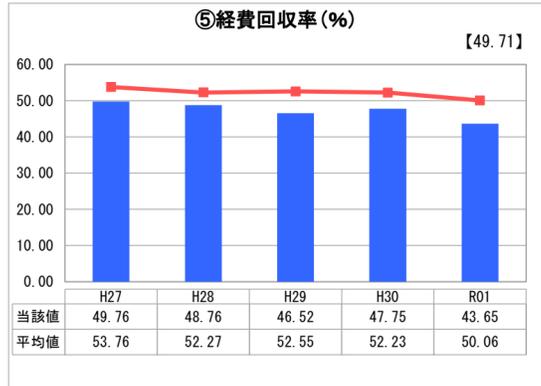
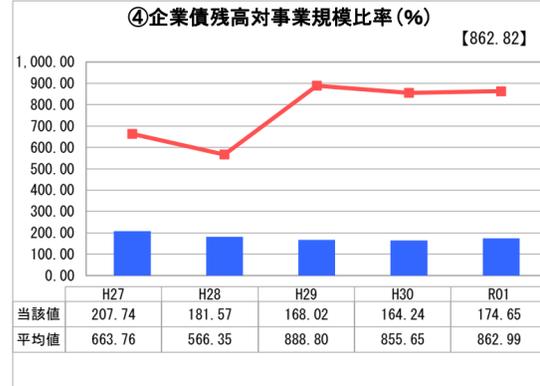
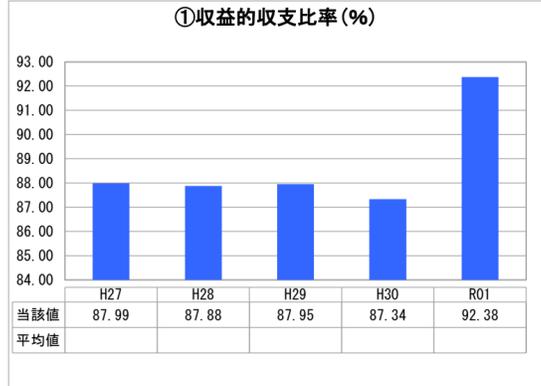
兵庫県 たつの市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.05	100.00	2,420

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
76,276	210.87	361.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,561	0.27	5,781.48

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①（収益的収支比率）法適化移行に伴う打ち切り決算が要因で数値が向上したかのように見えるが、収益的収支比率は依然100%を下回る値で推移しており、使用料改定による向上は見られるものの引き続き経費削減等経営改善に努めていく必要がある。

④（企業債残高対事業規模比率）処理施設の形態上、抜本的な更新工事によらず定期的なメンテナンス修繕による施設の長寿命化により、類似団体平均値と比較して概ね1/5となっている。

⑤（経費回収率）本市の他の下水道事業と比較すると経費回収率は高いものの、依然50%を下回っており、一般会計からの繰入金に依存している状況にある。さらなる汚水処理費用の削減に努めるとともに、計画的な使用料の見直し検討が必要である。

⑥（汚水処理原価）類似団体平均値と比較して費用が低く抑えられるものの、若干上昇傾向にあることから引き続き費用の削減に努めていく。

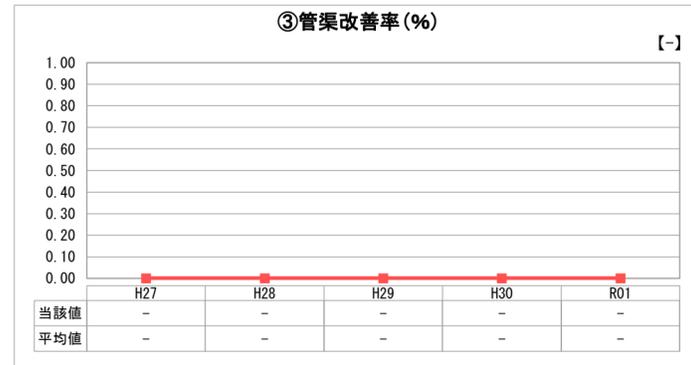
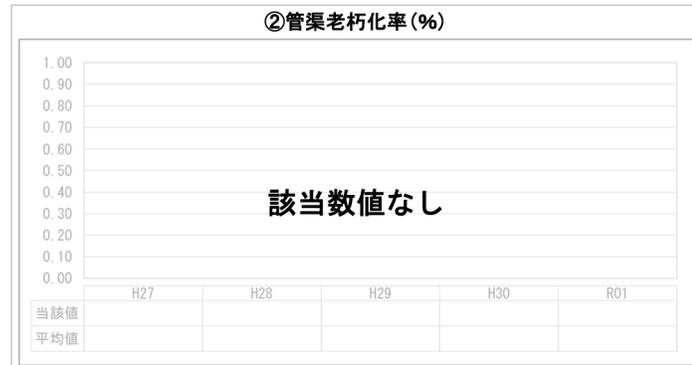
⑦（施設利用率）類似団体平均値と比較して若干率は低い。単に過剰投資ということではなく、人口減少が顕著な山間部に点在している集落での設置という人的・地理的要因がある。

⑧（水洗化率）類似団体平均値と比較して高い水準を推移しており、使用料の増収を図るために引き続き水洗化率の向上に努めていく。

2. 老朽化の状況について

③（管渠改善率）定期的なメンテナンスにより合併浄化槽の長寿命化に努めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

個別排水処理施設の導入は点在する家庭を集合処理する方法に比べ初期投資は比較的抑えられているものの、個別排水処理施設導入地区の人口減少が進んでいることから、今後はより一層効率的な維持管理が必要となってくる。

人口減少対策のひとつとして、現在、他処理区で集合処理方法となっているものを合併浄化槽へ切り替えることを検討していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。